

株式会社乃木鈴建設産業 野木支店

所在地 野木町大字川田 338-2 従業員数 25 名

【主な事業内容】

当社は 1967 年「鈴木鉄工所」創業を経て 1970 年に「鈴木鉄工株式会社」として設立し、1996 年に現在の「株式会社乃木鈴建設産業」に社名変更しました。

総合建設業として建築一式工事、土木一式工事を中心に建設業を営んでおり、野木町をはじめとする栃木県南地区と隣県地域にて建築部門では工場、店舗を中心に新築・改修工事、土木部門では道路改良工事・舗装工事・外構工事等幅広く工事を承っております。

社員一同はお客様のニーズにお応えするよう常に「創造・協力・奉仕・協力」の各信条をモットーとして工事に従事し、また協力会社共々「品質確保」「環境対策」を心がけ安全第一に施工しております。

今後も野木町発展の上で、各工事を通じてその役割を担っていきけるよう日々邁進致します。



《社員のひとこと》

地元に根付いた活動を目指してきた当社としては工事だけでなく「愛ロードとちぎ」などのボランティアを通じ“お客様に真心で対応”の気持ちで今後も地域貢献活動に参加していきたいと思ひます。

(総務部 上野雄一郎)

《お詫びと訂正》

広報のぎ平成 28 年 12 月号 28 ページ「キラリと光る野木町の企業紹介 No.21」において、株式会社丸信化工様の工場竣工年月(起業年月)に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。(誤) 1996 年 12 月 (正) 1966 年 12 月

広報連絡委員レポート No.368

キラリと光る消防団

広報連絡委員 寶示戸 英夫

今年も野木町消防団の通常点検を拝見することができました。去る 10 月 23 日、町総合運動公園で人員・服装・放水点検、そして駅東通りでの分列行進が行われました。なかでも男性団員の中でひととき華やかさの中にも凛とした女性消防団員の姿には本当に感動いたしました。



ここ数年、毎年のように甚大な被害をもたらす出来事が国内はもちろんの事、世界的にも多くなってきたりするようにです。大雪、地震、噴火、竜巻、ゲリラ豪雨や台風などによる道路、河川の増水や土石流、雪崩、火砕流、津波などです。

町でも昨年 9 月の台風では今までにない大きな被害が出てしまったことを思い出します。近隣の市町でも堤防の決壊や床上・床下浸水、道路の冠水が発生し、稲も野菜も水に浸かって

しまいました。そんな悪い条件の中、消防団員の各方面での活躍は大きな働きがあったのではないのでしょうか。浸水予防、排水作業、交通整理や後片付けなど、昼夜問わず任務にあたってくれました。

その活躍が認められ、防災功労者として野木町消防団が消防庁長官、そして内閣総理大臣表彰を受賞しました。団員たちも喜んでいと思います。災害発生時に、仕事を投げうってでも任務にあたり、私たちたちが安心安全で暮らしている、それが消防団員ではないのでしょうか。

しかし、近年少子化や仕事の関係でなかなか団員確保が難しいという話を聞きます。そのような中でも野木町では定数を維持しているということで、素晴らしいことだと思います。これもひとえに区長さんをはじめ関係者の皆様の努力の賜物ではないのでしょうか。

これからも野木分署員と協力をしながら町民一人ひとりが安全で安心に生活できるように活躍を期待しています。